

市議会通信

日田市議会議員



なかしま章二

【連絡先】

電話・fax 0973-22-7102

携帯 090-8412-9143

住所：日田市港町 8-64

メール：shodaykota@ab.auone-net.jp



教育福祉委員会



登壇質問



議員間討議



先進地視察（八千代市中央図書館）

市議としてスタート！

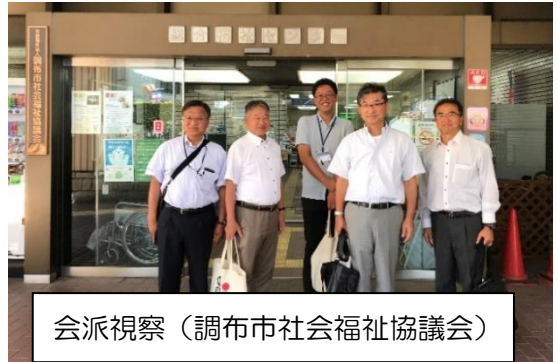
皆さん、こんにちは、私は昨年4月から日田市議会議員としての活動をはじめさせていただきました。1年生議員として、9月議会そして12月議会と2度の一般質問（教育関係・災害発生時の対応等）を行いました。また、所属する教育福祉委員会では、「子どもたちが笑顔で成長することができる日田市」を目指し、子育て環境、福祉環境の整備について、皆様の意見を市政に届け「住みやすい日田、住みつけたい日田」の実現を目指し活動していきます。

会派・委員会について

議会は本会議での議案審議とそれぞれの委員会へ付託して審議し、委員会での審議結果を本会議で委員長報告し、最終的な議決を行います。委員会は常任委員会と特別委員会があります。私は会派内での協議の結果、教育福祉委員会（福祉保健部・教育委員会所管）、議会改革特別委員会に所属しています。また、「働く人、生活者の視点で議会活動を行う市民クラブ（社民党議員2名、立憲民主党議員2名）に入会させていただき、ご指導いただきながら議員活動をスタートしました。

議会報編集委員（委員長）として日田市議会だよりの編集もさせていただいています。より見やすい市議会だよりになるようにしていきます。

市民クラブ（会派）		
氏名	居住校区	会期
溝口 千壽議員	高瀬	5期
井上正一郎議員	小野	2期
梶原 信幸議員	咸宜	1期
中島 章二	咸宜	1期



会派視察（調布市社会福祉協議会）

【一般質問】

令和元年第3回定例会（9月4日～26日）、4回定例会（12月3日～23日）において一般質問を行いました。

また、6月議会では「義務教育費国庫負担制度の復元・拡充を求める意見書の提出を求める請願」をしました。

これまでの2回の一般質問では子どもたちが笑顔で成長でき、災害発生時に命を守る体制の確立した日田市になるようにという思いの質問をしてきました。

【9月定例会質問項目】

- ① 災害に強い人づくりのための対策について
「要配慮者の安全確保」
「防災教育・防災訓練」
- ② 日田市の小中学校における働き方改革について
- ③ 通学区域について

【質問と答弁のまとめ】

（質問） 今後の防災教育、防災訓練の方針について伺う

（部長） 自主防災組織での学習会や広報ひた、市のホームページによる住民への周知や、防災訓練や防災教育を活動内容とするNPO法人等と協力、連携しながら住民主体の避難所運営訓練などの取組を行う。

（質問） 本市における働き方改革に関する方針・計画への対応状況について伺う

（教育長） 現在の取り組みを基本に方針等を策定し、市民の皆様にも広く周知することにより学校の働き方改革に対する御理解をいただきながら、教育活動の充実と児童生徒が安心して学べる教育環境の整備に努める。

（質問） 少子化等の影響で、中学校入学時に、卒業小学校から少人数で入学する生徒がいるが中学校通学区域の現状把握について伺う

（教育次長） 現在各学校において、個別具体的に生徒に寄り添った対応を行い、心理的な負担を解消するよう努めているので、現状把握を別途行う予定はない。

【12月定例会】

① 不登校児童生徒への対応について

「不登校児童生徒の現状と課題、職員体制」

「教育機会確保法の講じるべき措置への対応」

② 在校中の災害発生時の児童生徒の安全確保について

③ 小中学校におけるコミュニケーション・スクールについて

【質問と答弁のまとめ】

（質問） 教育機会確保法の講じるべき措置について伺う

（教育長） 「教育機会確保法」では、学校に復帰することだけを目標とするという事ではなく、学校以外の場での学びの機会を保障するということが一つの大きな目標になっていますので、「やまびこ学級」であるとか、「フリースクール等」への参加についても、十分学びの機会の保障になっていると認識している。

（質問） 心の相談員等の専門

スタッフの増員について伺う

（教育長） 教育機会確保法ができて「学校以外の場での学びの場」が始まったところですのでしっかりと見きわめて、その対応については考えていかなければならないと思っています。

（質問） 学校における緊急時の児童生徒の、避難物資の必要性について伺う

（教育長） 着替えや非常食等をリュックに詰めて学校に準備しておくような取組み等の、事例を検証しながら考えていく課題であると認識している。

一般質問では、引き出したい答弁を導き出すためには、質問内容を精査することと質問方法を工夫していかなければならないことを痛感しているところです。

ここをスタートにさせていただき、市民の皆様の声を議場に届け、より良い日田を創るために精進してまいります。

【決算審査特別委員会】

第3回定例会において決算審査特別委員会に審査の付託を受け、継続審査となっていた平成30年度日田市一般会計予算及び特別会計歳入歳出決算の認定及び、平成30年度公営企業会計決算の認定について、各常任委員会（総務環境委員会・産業建設委員会・教育福祉委員会）の所管に準じて各分會を設置し、執行部から決算概要の説明を受け審査を行い、多数をもって認定しました。



ただし、以下にあげるような23項目を付言・要望しました。

「新しい公共推進事業」については、住民自治組織は地域課題の解決目的として設立する組織であるという原点に立ち返り、今後設立を予定する地域では既存の団体や組織との調整を行うなど、住民との意見交換を十分行い、財政的な見通しや事業効果も含め、しっかりとした方向性を示すこと。

「公共交通対策」については、乗り合いタクシーの利用が伸び悩んでいる地域があるなど、今後ますます厳しい状況が見込まれる。このような厳しい状況においても行政が責任をもって事業を遂行するとともに、既存路線の変更にあたっては地域の実情にあった対策を示しながら協議を深めること。

「福祉避難所用備蓄物資等整備事業」については、近年頻発する災害に対して、現在の備蓄状況・備蓄方法については不安があることから、災害に対していつでも

対応できるよう関係部署と連携しながら、備蓄物資の充実を図ること。

「有害鳥獣捕獲事業」については、農林作物被害はまだ多い状況であることから、捕獲体制において広域的な取り組みを行うなど、制度見直しを含めて事業推進に力を入れること。

「駅前広場整備事業」についてはJR 日田駅前の広場をリニューアルし交通結節点、情報発信、観光の拠点となるよう整備し、平成27年度から30年度までの4年間で完成したものである。今後は駅裏の整備や地下道、エレベーターの設置など周辺整備が予定されていることから、幅広い市民の意見を聞きその要望をできるだけ反映することで、日田駅前の広場を多くの市民の憩いの場として活用すること。

「コミュニティ・スクール推進事業」について、市内全校区におけるコミュニティ・スクールの実施については、地域のニーズを反映

し、創意工夫により特色ある学校づくりができるよう、また、学校評議員制度との違いを明確にした取組テーマを設定するとともに取り組みの成果指標をわかりやすく示すこと。

「放課後子ども総合プラン事業」については、放課後対策として実施される放課後児童健全育成事業や公民館事業とともに、それぞれの長を活かし、地域性に応じた子どもの居場所づくりをおこなうこと。

「日田市介護保険特別会計」について、要介護認定の更新では本市を含め、大分県全体で要介護度が下がっており、平成30年度には要介護度の変更申請が多く発生している。現場からは要介護認定のための判定が厳しいとの声も聞かれることから、認定審査の際には申請者の状況を的確に反映すること。

本会議以外での委員会等では執行部と細かい協議ができるため、しっかりと意見を述べていきます。

災害に備えましょう！

280MHz「防災ラジオ」について（事前申請のご案内）

市内の全世帯に「280MHz 帯防災ラジオ」のご案内と申請書が郵送されています。記載されている住所・世帯主名に間違いがないか確認し、電話番号を記入して、印鑑を押して下記の方法で申請をお願いします。

【申請方法】

- ★市の窓口へ直接提出（市役所1階総合案内・各振興センター・各振興局）
- ★自治会の班回覧の回収袋に提出（2月上旬頃を予定。自治会により多少前後します。）
- ★市役所に郵送で提出（切手を貼って下さい。）

提出先〒877-8601 日田市田島2丁目6-1 日田市防災・危機管理課宛
令和2年5月頃から、順次宅配にてお届けします（申請家庭のみ）

「あっという間に時間が過ぎていく」と感じるこの数カ月、6月議会、行政視察、9月議会、決算審査特別委員会、議会報告会、12月議会、その間には教育福祉委員会や、議会改革特別委員会に自主研修と時間に追われながら過ごしてきた感じます。

これからは、10年後20年後の日田を見据えた事業展開の発想を市民の皆様と共に、市政に反映させる活動をさせていただきたく今後ともご意見ご要望をお聞かせくださいませうお願いいたします。

3月議会（新年度施政方針・予算案審議等）2月26日、3月25日予定です。